



岡山産業保健推進センター

《おかやまさんぽメールマガジン》 第33号 2010年11月1日(月)

発行 岡山産業保健推進センター 所長 石川 紘



I N D E X

1 相談員アドバイス

子供が安心して育つ環境

カウンセリング相談員 武田 静枝

2 センターからのお知らせ(相談・研修・行事案内・新規教材)

3 トピックス

*第8回女性医療フォーラムのお知らせ

4 産業保健相談 回答例

*喫煙コーナーや喫煙対策機器を設置する場合に注意することは?

5 編集後記

1 相談員アドバイス

子供が安心して育つ環境

ふとした事から子供が育つ環境の大切さに気がつく事に出会った。

私事ですが、今年体調を崩した事から体力回復の目的で、毎朝ウォーキングを始めた。その道中に野犬が5~6匹いて吠えるので怖いと思っていたが、「おはようーおはようー」と声をかけながら歩いていると、私が「敵」ではないと分かったのか、最近では、めったには吠えずに遠まきに様子を窺うようになった。

先日、その中に子犬が2匹いる事が分かった。ある朝2匹の子犬がじゃれあって

いたので、「おはよう」と声をかけると、「キャンキャンキャンキャン」と吠えながら親犬の方へ逃げて行った。子犬は人懐っこいので私のもとへ駆け寄ってくると思い込んでいたので“アレッ”と思ったが、この動作が、育った環境だなと気づかされた。

野犬になるまでには、犬もいろいろな人生（犬生？）を歩んできたはずで、周りが皆「敵」と考え、身を守っていかなければ生き延びられないという方法を身に付けてきたと思った。その環境の中で子犬も、自分たち以外は「敵」だという事を自然に身に付けていったのだと思った。

これは犬の世界の事ですが、人間の世界ではどうなのだろうか。

最近、毎日のように幼児虐待の事が、新聞に載っている。家庭という密室の中で、躰という名目で虐待をしてわが子を殺したり、またネグレクトする親が増えている。こういう親は、100パーセントとはいえないが、その親に虐待されたり、ネグレクトされた環境の中で大人になり他の方法を知らないで子育てをしてしまったといわれている。負の連鎖で、ある意味親も犠牲者なのかもしれない。虐待やネグレクトは、昔は絶対ないとはいえないが、最近増加している原因のひとつに、家庭環境のみならず社会環境の変化にあるように思える。

ひと昔前の家庭は大家族で、おじいさんやおばあさん、おじさんやおばさんなど親以外の人たちも自然に子育てに参加する家庭環境があった。

また、近所の人も、よその子供でも、怒ったり、お節介したり、助けたり、その地域全体が家庭のような社会環境があって、家庭が密室にはなり得なかった。

反対にどこに居ても人の目がある暑苦しさやうっとうしさはあったが、安心をして親も子供も育っていったように思う。そういう環境の中で、子供は、社会で生きていく方法を身につけながら大人になり社会人になっていく。しかしながら、今の社会は、暑苦しさやうっとうしさを切り捨てているように思える。子供や親が安心をして育つ環境というのは、実は暑苦しさやうっとうしさのある環境こそがある意味大切だったのではないかと思った。

勇気のいる事ですが、子供やその親のために、お節介おじさん、お節介おばさんになって、安心して生きていける環境づくりを考えたいと思う。

【武田静枝相談員のセミナー・研修会】

日 時： 12/2（木）14：00～16：00

研修テーマ： 『職場のメンタルヘルスとカウンセリングⅣ』

内 容： ロールプレイングと事例検討

場 所： 岡山第一生命ビルディング3階 共用会議室

受講料： 無料

産業医研修会・セミナーの情報・お申込はこちらからどうぞ

<http://www.okayama-sanpo.jp/index.htm>

2 センターからのお知らせ（相談・研修・行事案内・新着教材）

■ 産業医研修会 ■

産業医研修会・セミナーの情報・お申込はこちらからどうぞ

<http://www.okayama-sanpo.jp/index.htm>

対象者：

日医認定産業医

基礎研修の単位は取れないが、参加を希望する医師

職場の健康管理に関わる保健師・看護師等産業看護職および人事労務担当者等

受講料： 2,000 円

場 所： 岡山労災病院 3 階会議室

日 時： 11/18（木） 19：00～21：00

研修テーマ： 『メンタルヘルス対応における産業医面談の進め方、

産業医意見書の書き方』

『実習：産業医面談のロールプレイ・

産業医意見書を実際書いてみる』

講 師： 三橋 利晴（岡山大学院 疫学・衛生学分野 非常勤研究員）

高尾 総司（岡山大学院 疫学・衛生学分野 講師）

単 位： 生涯研修 専門研修 1 単位 実地研修 1 単位

日 時： 1/20（木） 19：00～21：00

研修テーマ： 『民事裁判における医師と弁護士との関わりについて

-労災訴訟を例として-』

講 師： 松原 健一（安西法律事務所 弁護士）

高尾 総司（岡山大学院 疫学・衛生学分野 講師）
単 位： 生涯研修 専門研修 2 単位

日 時： 2/10（木） 19：00～21：00
研修テーマ： 『企業における業務遂行レベルに着目した新しいメンタル対応
-人事労務担当者と産業保健職の役割分担-』

講 師： 岸本 卓巳（岡山労災病院 副院長）
小林 朋子（岡山大学院 疫学・衛生学分野）
単 位： 生涯研修 専門研修 2 単位

日 時： 3/17（木） 19：00～21：00
研修テーマ： 『心理的負荷による精神障害等に係る業務上外の判断指針の
一部改正とメンタル対応と労災』

講 師： 高尾 総司（岡山大学院 疫学・衛生学分野 講師）
岸本 卓巳（岡山労災病院 副院長）
単 位： 生涯研修 専門研修 1 単位 更新研修 1 単位

メールフォームでのお申込は

⇒ <http://www.okayama-sanpo.jp/form-sangyoui.html>

F A Xでのお申込は

⇒ <http://www.okayama-sanpo.jp/pdf/mousikomi/sangyouifax.pdf>

■ 岡山産業保健推進センター主催セミナー・研修会 ■

場 所： 岡山第一生命ビルディング 3 階 共用会議室
受 講 料： 無料

産業医研修会・セミナーの情報・お申込はこちらからどうぞ

<http://www.okayama-sanpo.jp/index.htm>

【健康管理研修会】

日 時： 11/4（木） 14：00～16：00

研修テーマ： 『過重労働による健康障害とその対策』

内 容： 過重労働による健康障害とその対策について分かりやすく解説します。

講 師： 道明相談員

日 時： 11/16（火） 14：00～16：00

研修テーマ： 『職場における新型インフルエンザ対策について』

内 容： 2009年4月に発生した豚由来の新型インフルエンザ（H1N1）および、強毒性の鳥インフルエンザについて産業保健の観点から職場における対策を解説する。（10/6の研修会と基本的に内容は同じ。）

講 師： 山本相談員

日 時： 12/1（水） 14：30～16：00

研修テーマ： 『健診結果の見方と健康増進』

内 容： 健診結果の見方をおさらいし、健康増進事例を紹介します。

講 師： 成松相談員

日 時： 1/17（木） 14：00～15：30

研修テーマ： 『過重労働対策について』

内 容： 過重労働対策について分かりやすく解説します。

講 師： 中村相談員

日 時： 1/18（火） 14：00～16：00

研修テーマ： 『有害環境と健康管理について』

内 容： 有害環境（物理的・化学的）と健康管理について産業保健の観点から解説します。

講 師： 山本相談員

【労働衛生関係法令研修会】

日 時： 2/14（月） 13：30～15：30

研修テーマ： 『病院、診療所における労働者の健康確保』

内 容： 医療従事者に対する労務管理・健康管理

講 師： 角南相談員

【産業看護研修会】

日 時： 11/9（火） 14：00～16：00

研修テーマ： 『アルコールとの上手な付き合い方』

内 容： 年末年始のアルコールとの上手な付き合い方について共に考えましよう。

講 師： 福岡相談員

日 時： 12/14（火） 14：00～16：00

研修テーマ： 『保健指導パートⅢ』

内 容： ロールプレイング ※対象者：産業看護職
（前回のパートⅡが好評でしたので、新たにパートⅢを開催する事となりました。内容は、パートⅡとは変わります。）

講 師： 福岡相談員

日 時： 2/22（火） 14：00～16：00

研修テーマ： 『骨粗鬆症の予防』

内 容： 美しく年を重ねるために！

講 師： 福岡相談員

【メンタルヘルス研修会】

日 時： 11/17（水） 14：00～16：00

研修テーマ： 『せん妄』

内 容： せん妄をきたす状態の理解とその対応について

講 師： 大月相談員

日 時： 2/7（月） 14：00～16：00

研修テーマ： 『初老期のメンタル問題』

内 容： 初老期うつ、認知症、パーキンソン病など、初老期の心と神経の危機について

講 師： 勝田相談員

日 時： 2/16（水） 14：00～16：00

研修テーマ： 『てんかん』

内 容： てんかんの診断と治療、対応について

講 師： 大月相談員

産業医研修会・セミナーのお申込はこちらからどうぞ

<http://www.okayama-sanpo.jp/index.htm>

- ▼研修会の受付は3階共用会議室で行います。直接会議室へお越し下さい。
- ▼今後、研修会開催場所に関しては変更になる可能性があります。
変更になった場合は、速やかに御連絡いたします。
- ▼当センターの研修会、貸出教材、メールマガジン、ホームページの内容など各種事業に関する御意見、御要望を下記メールアドレスにEメールにて御遠慮なくお願いします。

E-mail : info@okayama-sanpo.jp

3 トピックス

■第8回女性医療フォーラムのお知らせ■

女性のワークライフバランスを考える ～晴れ晴れと生きるために～

日 時：11月13日（土）13：00～17：35

会 場：岡山コンベンションセンター（ママカリフォーラム）イベントホール1F

※JR岡山駅中央改札口より徒歩約3分

内 容：各地の労災病院には、女性特有の疾病、職場環境の変化に起因する様々な心身の変調の訴えに対応する「女性外来」が設置されています。さらに女性医療の現状を分析・研究し今後のあり方を模索するため、女性医療フォーラムを岡山市にて開催することになりました。医療関係者に関わらず女性の働きやすい環境に関心をお持ちの方など多くの方の参加をお待ちしています。

備 考：入場無料

託児所完備（予約制、申し込み先着順、11/2（火）までにお申込下さい。）

問合せ：岡山労災病院 総務課 TEL（086）262-0131

詳細・お申込はこちら↓

<http://www.okayamah.rofuku.go.jp/assets/files/event/jyoseiiryoforamu.pdf>

4 産業保健相談回答例

■10月1日よりたばこが値上がりしましたが、まだ喫煙を続ける人も多いようですので、今回の相談例です。

職場において、喫煙コーナーや喫煙対策機器を設置する場合にはどのような注意が必要でしょうか。

安全衛生法第71条の3第1項の規定による「快適職場指針」（平成4.7.1、労働省告示第59号）に基づく「職場における喫煙対策のためのガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）では空間分煙のため、喫煙室・喫煙コーナーや喫煙対策機器の設置を図ることが示されていますが、どのようなことに注意する必要がありますか。■

喫煙区域内の煙が外部まで及ばない措置が講じられていること。

有効な空間分煙の推進のためには施設・設備の対策が必要です。この基本的対策としてガイドラインには施設設備についての留意事項を掲げています。

設備のうち、「喫煙コーナー」とは、エアーカーテン、衝立等によって区画された喫煙可能な区域であって、当該区域の内部のたばこの煙が当該区域の外部まで及ばない措置を講じられているもので、煙が外部に出ないようにすることが必要です。

「喫煙対策機器」とは「たばこの煙が拡散する前に吸引して屋外に排出するもので局所排気装置が該当します。

喫煙対策機器の設置によって受動喫煙を防止するためには、喫煙対策機器はその設置場所及び喫煙の状況に適した形式、能力を有するものを選定する必要があります。

また、建物に中央管理方式の空気調和設備が設置されており、当該設備で室内の空気が一定程度還流している場合は、喫煙室等で発生したたばこの煙が換気口に吸い込まれ、その設備を介して建物全体に拡散することとなるので、所要の対策が必要となります。

（産業保健Q&A検索システムより）

産業保健相談はこちらから

<http://www.okayama-sanpo.jp/3soudan.htm>

メールによる相談も24時間受け付けております。

<http://www.okayama-sanpo.jp/form-soudan.html>

5 編集後記

10月2日（土）10:00～11:30

ちゅうぎん駅前ビル4階会議室にて、岡山県産業看護部会臨時総会が開催されました。活発な意見とともに議題が進んでいき出席者の方々の熱意を感じました。

10月2日（土）14:00～16:30

奉還町のオルガホールにて（財）淳風会健康管理センター主催、岡山県産業看護部会及び当センター共催によりメンタルヘルス講演会が東京大学大学院の川上憲人教授を招いて140名の出席者のもと盛大に開催されました。当センターの紹介として事業のご案内等を資料と一緒に配布させていただきました。

以上の内容は当センターホームページの「センター行事」のコンテンツを御覧になってください。今回の講演会風景も掲載されています。

また産業看護職の方で岡山県産業看護部会に未加入の方がいらっしゃれば、これを機に加入しませんか。詳しい事は、当センターの佐古まで御連絡ください。部会の責任者と連絡を早急に取りさせていただきます。

また、これからもどんどん広報活動をしていきたいと思っております。関係団体・事業場にも無料で出向いていきますので、一声かけていただけたら幸いに思います。

（文責 業務係長 佐古）

次回の第34号は

12月1日（水）の配信予定です。

▼ メールマガジンの配信停止を希望される方、メールアドレス変更予定のある方は、
こちらのアドレスからご連絡ください ⇒ info@okayama-sanpo.jp

- ▼ 教材情報・センター情報の詳細確認、利用申込等は下記のホームページURLからアクセスしてください。
- ▼ Eメールアドレスの変更、配信停止なども下記メールアドレスへお願いします。
- ▼ 著作権法の規定により、他者の著作物を私的な目的以外で複製することは禁止されていますので、必ず守ってください。
- ▼ 当メールマガジンは、リンク先サイトの内容やプライバシーについて、責任を負うものではありません。利用者自身の責任においてご利用ください。
- ▼ このメールは配信専用メールアドレスから配信されています。そのまま返送いただいてもお答えできませんので、必ず info@okayama-sanpo.jp へ御返送ください。
- ▼ バックナンバーはホームページの「メールレターを配信しています！」に掲載しております。



独立行政法人 労働者健康福祉機構岡山産業保健推進センター

〒700-0907

岡山県岡山市北区下石井 2-1-3

岡山第一生命ビルディング 12階

TEL : 086-212-1222

FAX : 086-212-1223

H P : <http://www.okayama-sanpo.jp/>

E-mail : info@okayama-sanpo.jp

